
あの子を3日だけ返して

- - 薬害エイズで召されてしまったわが子へ - -

作詞 / 山田博士 作曲・歌 / 宇都宮翔

- 一 . たった一つ私に 許されるなら
あの子を3日だけ 返して
何万光年果てに 召されてしまった
あの子をどうぞ 返して
好きだったカレーライスたっぷりと お皿に盛りつけ
玄關にちっちゃなスリッパ用意して 帰りを待ちましょう
- 二 . ドアをあけて飛び込む ただいまの声
たったのそれだけが うれしい
あの子を両手で強く 何度も何度も
抱きしめるのも かなしい
どうしてた寒くないか風邪なんか ひいてはいないか
寂しくはなかったか母さんを 思って泣いたか
- 三 . 3日3晩が過ぎて 約束どおり
あの子の戻ってく 日がきた
だけども一人の旅じゃ 心細かろう
私もそばに ついてく
この世にはもちろんまだしたいこと 山ほどあるけど
罪もないあの子だけを送ること 私にできない
- 秋の日にこんなこと思っても すべてはまぼろし
あの子には写真でしかさわれない すべてはまぼろし
まぼろし……

山田より ; 現在、5日に一人が薬害エイズで天に昇っています。なんという国でしょう。なんという企業社会でしょう。日本の厚生行政はどこを向いているのでしょうか。この歌の坊やも……天国に旅立ちました。食や薬について、真剣に考えて下さい。